

一般社団法人日本森林インストラクター協会

平成 4 年 4 月、全国の資格者の有志が全国森林インストラクター会として設立し、20 年余の活動を経て、平成 25 年 3 月より一般社団法人日本森林インストラクター協会として、森の案内、樹木や自然の観察、ネイチャークラフト指導などの活動を展開しています。

事務所 〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6 階

TEL / FAX 03-5684-3890 E-mail : jim@shinrin-instructor.org

会員数 平成 26 年 3 月 1 日現在 1,381 名 (連絡先：担当寺嶋)

平成 26 年 6 月 山と溪谷社発行 A5 判『日本森林インストラクター協会選定 日本の森 100』

設立 20 周年を記念し全国の森林インストラクターから情報収集し編纂。自然豊かな森、ふれあいや教育の森、信仰と癒しの森、資源の循環利用の森、再生の森など、北海道から沖縄県まで全国 100 カ所の森を見開きで紹介。森林の見所、歴史、文化、現地の推薦コースを地図に記載、地域の森林インストラクターが案内、解説も可能。「教育旅行」、「一般旅行」でのフィールドとして活用できます。

※森林インストラクターとは、平成 3 年告示の農林水産大臣認定資格として創設された制度であるが、現在は、環境教育等促進法の「人材認定等事業」として、一般社団法人全国森林レクリエーション協会が毎年 1 回実施する試験に合格し登録すると付与される資格。試験科目は、「森林」、「林業」、「野外活動」、「安全と教育」の 4 科目。1 次試験は文章を記述して答える問題が多い。



○産経新聞 平成 26 年 8 月 24 日書評

日本森林インストラクター協会が選んだ魅力的な日本の森林を紹介。尾根に日本有数のブナ林が広がっている「千振（ちぶり）尾根のブナ林」（石川県白山市）、紅葉が旅情をそそる「岩手山麓森の道」（岩手県滝沢市）など、豊かな森の写真が目にとやさしい。本書は日本の森林に親しみ、森と人とのよい関係を築くことを目指して刊行された。掲載されているのは、北海道から沖縄まで四季を通じて日帰りで散歩を楽しめるコース。森の特徴から、歩き方、歴史や文化まで解説を加えている。読んでみると森に行ってみたくなる。（山と溪谷社・本体 1980 円＋税）

○（一社）日本森林技術協会 「森林技術 10 月号」書評

本の紹介

（一社）日本森林インストラクター協会 編著
日本森林インストラクター協会選定
日本の森 100

発行所：（株）山と溪谷社
〒102-0075 東京都千代田区三番町 20 番地
2014 年 6 月発行 A5 判 224 頁
定価（本体 1,980 円＋税） ISBN978-4-635-78005-6
（お求めは書店にて）

古来より仕事や生活のための場所であった森。その森がレクリエーションの場としても活用されるようになったのは、最近のことだといわれています。

レクリエーションとして、森の魅力に触れ、体験する。その案内人となるのが、「森の目利き」である森林インストラクターの皆さんです。そんな日本各地の森林

インストラクターの方々が、それぞれ地域推奨の森を選定し、その最大公約数の森林をこのガイドブックで紹介しています。

選定された 100 箇所の森は、それぞれ見開き 2 ページで紹介されています。統一されたレイアウトの中に「ポイント」「森の観察ガイド」「森の特徴」「歴史や文化」「現地へのアクセス」など、

森を訪れ、「見て」「歩いて」「体験する」のに必要な情報が、わかりやすく簡潔に、配置されています。さらに、それぞれの森を的確に説明・紹介する多くの美しいカラー写真が、森への気持ちを後押しします。また国土地理院 2 万 5000 分の 1 地図に加筆されたコース図は、現地で役立ちます。

紹介されている森には、一般に広く知られている都市部や市街地周辺に存在するものもありますが、「〇〇県民の森」といった一見親しみやすい名前ながら、観光地化されていないため、公共交通機関があまり整っておらず訪れるのに少々苦労する場所など、バリエーションに富んだ多彩な森が紹介されています。中には訪問・見学に、事前の許可が必要な場所もありま



す。簡単に行ける森だけでなく、手間や苦労をしてでも、見てもらいたい、見に行く価値のある森があるのだという紹介者のこだわりが、それぞれのページから伝わってきます。

日本百名山を巡る方々がいるように、この本に紹介されている魅力的な 100 の森を巡ってみてはいかがでしょうか。どんな写真や情報も実物や実体験にはかなわないものです。

（日本森林技術協会／一 正和）